

科目名	演劇概論			科目コード	0219
開講学科	共通専門科目	単位数	4	形態	通信授業
教員名	大浦龍一				
授業の目的及びテーマ					
欧米諸国では演劇は文学やその他の諸芸術との関わりにおいて重視されてきた。ここでは優れた鑑賞眼を持った観客の養成を第一の目的としたい。そして「演劇の多様性と本質」をテーマとしたい。					
授業概要					
多様な演劇様式の中から特に重要な四つの演劇様式（ギリシア劇、シェイクスピア劇、近代リアリズム劇、アンチ・テアトル）を取り上げる。従来のようにそれらを単に進化論的に見るのではなく、それぞれの他の様式にはない長所にも着目して、それらの独自性を戯曲（文学的視点）、上演（芸術的視点）、観客（社会的視点）の三つの視点で考察する。それらの考察から各様式の演劇的な本質を理解する。 具体的にはまず演劇全体について書かれた概説書を読んでもらい、その上で四つの課題に取り組んでもらう。各課題ではテキスト（戯曲）を読んでもらい、各々の参考文献（指定の本が手に入らない場合、他の文献でもかまわないが、必ず何を参考にしたかを書くこと）で上演と観客についての知識を得て、レポートを書いてもらう。					
授業計画					
第 1 回：ギリシア劇 ソフォクレス『オイディプス王』と参考文献を読んでギリシア劇の様式の特徴を 2000 字程度にまとめてもらう。 第 2 回：シェイクスピア劇 シェイクスピア『ハムレット』と参考文献を読んでシェイクスピア劇の様式の特徴を 2000 字程度にまとめてもらう。 第 3 回：近代リアリズム劇 チェーホフ『かもめ』と参考文献を読んで近代リアリズム劇の様式の特徴を 2000 字程度にまとめてもらう。 第 4 回：アンチ・テアトル ベケット『ゴドーを待ちながら』と参考文献を読んでアンチ・テアトルの様式の特徴を 2000 字程度にまとめてもらう。					
テキスト	第 1 課題：ソフォクレス『オイディプス王』新潮文庫 第 2 課題：シェイクスピア『ハムレット』新潮文庫 第 3 課題：バーナード・ショー『ピグマリオン』光文社古典新訳文庫 第 4 課題：ベケット『ゴドーを待ちながら』白水 U ブックス	参考文献	概 説 書：河竹登志夫『演劇概論』東京大学出版会 西洋比較演劇研究会編『西洋演劇論アンソロジー』月曜社 第 1 課題：山内登美雄『ギリシア悲劇 神々と人間のドラマ』新曜社 第 2 課題：ホッジズ『絵で見るシェイクスピアの舞台』研究社 第 3 課題：中央大学人文科学研究所編『演劇の「近代」—近代劇の成立と展開』中央大学出版部 第 4 課題：エスリン『不条理の演劇』晶文社		
評価方法：					
通信授業は提出課題 4 件を以って評価する					